



地域医療連携 News

平素より中国労災病院が大変お世話になり、誠にありがとうございます。
地域医療連携News第187号を発行致しました。今後とも連携の程よろしくお願い申し上げます。

中国労災病院理念

働く人と地域の人のために患者中心の良質な医療を提供します。

中国労災病院の基本方針

- 個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- 地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実践します。
- 最新の医学に基づいた専門的な医療を実践します。
- 働く人の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- 優れた人材を育て、働きがいのある職場づくりを推進します。

初期臨床研修の理念

当院の初期臨床研修の理念は、崇高な信念と人格をもち、基本的な診療能力及び生涯にわたり自己研鑽する態度を身に付けた自立した医師を育成することです。

初期臨床研修の方針

- ①患者中心の思考・行動をする姿勢を持つこと。
- ②救急医療やプライマリケアなどの診療能力を修得すること。
- ③他の医療スタッフと協調し、安全で質の高いチーム医療を提供すること。
- ④地域のかかりつけ医と連携し地域完結型の医療を学ぶ。
- ⑤症例を通じて、診断・治療の結果だけではなく、プロセスを学ぶ。

1. | 誤嚥防止手術について

当科では誤嚥防止術を行っています。その概要をQ & A方式で説明します。

誤嚥防止術とは？

「呼吸道と食物道を分離することにより、誤嚥しなくなる」手術であり、気管内に食物、唾液が流入しなくなります(誤嚥しなくなります)。ただし永久気管孔となり発声機能は喪失します。(図1)

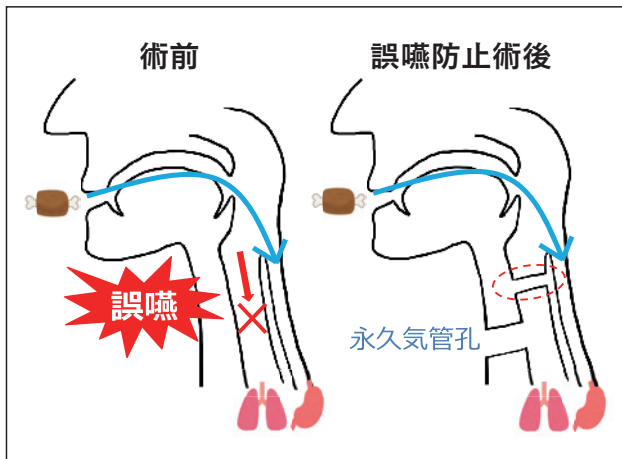


図1

適応は？

以下の要件をみたすことが必要です。(図2)

誤嚥性肺炎の反復や、またはその危険性が高い。嚥下機能の回復が期待できない。構音や発声機能が高度に障害されている。発声機能の喪失に納得されている。

具体的には進行性の神経筋疾患や重症心身障害児などがよい適応となります。



耳鼻咽喉科部長
小川知幸

誤嚥防止手術の適応

- ・ 誤嚥性肺炎の反復や、またはその危険性が高い。
- ・ 嚥下機能の回復が期待できない。
- ・ 構音や発声機能が高度に障害されている。
- ・ 発声機能の喪失に納得されている。

図2

具体的な方法は？

全身麻酔下で手術を行います。様々な手術方法がありますが、当科では、主に成人には声門閉鎖術、小児には喉頭気管分離術(気管弁法)を行っています。

術後の経過は？

術後1週間をめぐりに分離した呼吸道と食物道にリークがないか、着色水や嚥下造影検査でチェックをします。リークのないことが確認できれば経口摂取を検討します。

食事ができるようになる？

食事ができるだけの認知機能、嚥下機能の残存があれば可能です。誤嚥により経口摂取できなかった方は、経口摂取を再チャレンジできるかもしれません。しかし食事が認識できなかったり、嚥下機能の低下が著しい場合には食事をすることはできません。

その他のメリットは？

気管切開後に唾液誤嚥が多く、頻回な気管内吸引を必要とすることがあります。夜間も何度か吸引をする必要があると、本人、介護者ともに休むことができず疲弊してしまいます。本手術により唾液誤嚥がなくなると気管内吸引の回数が大幅に減少しますので、本

人、介護者ともにゆつくり休めることが期待できます。また症例によっては気管カニューレなしとすることができます。気管カニューレなしになることで、カニューレ管理や、カニューレトラブルから解放されます。ただし呼吸器管理を要する方や解剖学的な理由でカニューレなしとできないことがあります。

まとめ(図3)

誤嚥防止手術は呼吸道と食物道を分離することにより、誤嚥しなくなります。いずれの手術も発声機能は喪失します。経口摂取を保証するものではありません。

適応の判断に迷われる場合には、とりあえずご紹介ください。適応を判断して、本人様、ご家族に説明いたします。

まとめ

誤嚥防止手術は

- ・呼吸道と食物道を分離することにより、誤嚥しなくなります。
- ・いずれの手術も発声機能は喪失します。
- ・経口摂取を保証するものではありません。

図3

地域連携室からのお知らせ

令和2年度の医療法改正により放射線検査の被ばくについて説明が必要となっております。CT,RI検査の際の被ばくについての説明文を患者さんにお渡しするよういたしました。(別紙)ご予約をいただいた際に予約票と一緒に送信させていただきますので、貴院での被ばくのご説明のお役に立てれば幸いです。よろしく願いいたします。

地域医療連携ニュース第187号

〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1-5-1 Tel.0823-74-0321 Fax.0823-74-6260
中国労災病院 患者サポートセンター <https://www.chugokuh.johas.go.jp/regionalPartner/>



発行日：令和6年3月31日